

みあさづくり



在校生が正面玄関前で新入生の歓迎セレモニーを行いました。

美麻小中学校 入学式 ～お兄さん・お姉さんに迎えら12名が入学～

暖かな春の風が吹く4月6日（火）、美麻小中学校入学式が行われました。全校のお兄さんやお姉さん、保護者、来賓の皆様、教職員に迎えられ、温かな雰囲気の中での式となりました。式の後の歓迎セレモニーでは、全校のお兄さんお姉さんから、歌（「校歌」と「いちねんせいになったら」）のプレゼントもあり、1年生の笑顔が輝きました。

12名の元気いっぱいの1年生。やさしいお兄さんやお姉さんが、いつでもそばにいます。のびのびと学校生活を楽しんでほしいと思います。



QRコードを読んでパソコンやスマホでもご覧ください。

ホームページ
美麻Wiki



facebook



令和3年度 美麻地域づくり会議 総会を開催

美麻公民館講堂において4月8日（木）総会を開催し、下記事項について承認、決定がされました。

【第1号議案 令和2年度事業報告・主なもの】

4月 手作りマスクキット350個を地区内に配布。

7/16 小さな拠点講演会を開催。

9月 先進地視察（豊丘村、市内2ヶ所）を実施。

10月 道の駅で草刈りと花豆おやきの試食会実施。

12月 美し村開拓プロジェクトを実施。

1/3 ふるさとCM大賞NAGANOで演技賞を受賞。

1/30 SBC信越放送の全国放送番組の収録で、美麻のPRを実施。

○ 広報みあさづくり通信 6回発行。

○ ホームページ等による情報発信。

○ コミュニティ・カレンダーの発行。

○ 特産品開発で、栽培農家13戸に増加。

○ 花豆の新商品を5つ開発。

1.情報発信事業	651,723円
2.地域づくり調査研究事業	255,949円
3.交流促進事業	203,877円
4.小さな拠点創出事業	57,351円
5.地域づくり活動促進事業	337,528円
6.一般管理費	8,138円
決算額	1,514,566円

NEW

【第2号議案 令和2年度決算報告】

【第3号議案 美麻地域づくり会議運営体制】

令和3年度より新たに「**小さな拠点部会**」を設け、広報部会・事業部会・小さな拠点部会の3専門部会で事業を行います。

【議案第4号 令和3年度事業計画】

○ **広報部会事業** 広報誌（年6回程度）、コミュニティカレンダーの発行、地域情報の発信等を行います。

○ **事業部会事業** やまびこまつりへの参加、道の駅活性化事業、美し村開拓団プロジェクト、有害鳥獣被害防止対策等。

○ **小さな拠点部会事業** 小さな拠点の活動や運営組織の準備。移住・定住の促進等。

○ **地域づくり活動促進事業** 会員活動支援事業、



コミュニティ・スクール活動への参加、協力。
【議案第5号 令和3年度予算書】

1. 広報部会事業	73万円
・地域情報発信事業	64万円
・地域づくり調査研究事業	9万円
2. 事業部会事業	60万円
・交流促進事業	50万円
・地域環境整備事業	10万円
3. 小さな拠点部会事業	48万円
・運営組織等の準備事業	10万円
・移住・定住促進事業	20万円
・特産品の研究開発事業	18万円
4. 地域づくり活動促進事業	40万円
・会員活動支援事業	15万円
・学社融合事業	25万円
5. 一般管理費	3万円
6. 予備費	1万円
合計	225万円

【役員構成等】

次のとおり選出されました。

○ 会長	前川 浩一
○ 副会長（広報部会長）	北沢 直樹
〃（事業部会長）	北沢 孝一
〃（小さな拠点部会長）	川澄 寛都
○ 役員（広報副部会長）	※会議の開催時に選出
〃（事業副部会長）	田邊 勇
〃（小さな拠点副部会長）	鈴木 幸
○ 監事	小林 穂
〃	和田 重信

会長あいさつ

令和3年度総会にて、引き続き会長を賜りました。本年もご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

地域づくり会議では、新たに「小さな拠点部会」を設けました。持続可能な地域づくりの為に法人化を進めてゆく予定ですので、地域の皆さんからのご意見や、ご協力をお願いいたします。

少子高齢化による人口減少や農地山林等の荒廃、有害鳥獣被害等さまざまな課題がある中で、さらにコロナ禍の中活動が制約をされる日々が続きますが、できることをやりながら次の時代、次の世代の為に

地域の話題

2021 メンドシーノ交流事業について

交流実行委員会の全体会が4月13日（火）に行われました。昨年度からコロナ禍で相互訪問が中断しているなか、令和3年度も人が往来しての交流事業は行わず、インターネットなど様々な方法を活用して交流事業を実施することを決定しました。

また、9月に開催が予定されている芸術交流プログラムから、メンドシーノ側からは、米国内でのワクチン接種が進んでいることを受けて、条件が整えば来日して芸術交流をしたい意向があるとの状況が報告されました。

交流実行委員会としては、日本への入国手続き等について情報をお知らせしながら、来日が可能となった場合には、必要な対応をしていくことを確認しました。

今年の交流は、昨年から制作していたビデオレター

と、美麻小中学校9年生の作った「美麻かるた」、源流美麻太鼓の皆さんが作成したDVDを送ることからスタートし、合わせて、ZOOMなどインターネットを使ったりリモート交流の準備も進めていきます。地域の皆さんの参加と協力をお願いします。



「美麻かるた」 ひろがる・つながる

ついに美麻かるたが完成しました！完成した美麻かるたは、学校や美麻の各所、協賛していただいたみなさんのお手元に順次お届けしています。地域内のお店等でかるたの設置にご協力いただいておりますので、機会がありましたらぜひ手に取っていただくと幸いです。

先日、美麻かるたを牛越市長に見ていただく機会がありました。訪問した生徒数名から直接手渡し、かるたの制作過程や美麻についてお話しすることができました。熱のこもった時間となり、生徒たちは、地域の方から教えていただいたことや、美麻の魅力、かるたを作る上で大変だったこと等を大いに語っていました。この様子は、いくつかの新聞で取り上げていただけたため、結果、県内



に美麻かるたの完成を発信することができました。

生徒たちの語る言葉には「地域の皆さんのおかげで」というフレーズがたくさん出てきました。

大きな感謝とともに、地域の皆さんの支えがあって自分たちの活動が成り立ったことを実感しました。また、かるたの内容について質問されると、ずらずらと説明をしていました。

美麻について学んだことや、美麻で地域の方に支えられながら学んだ経験が、生徒一人ひとりの根となり、幹となっていることを感じます。

『美麻かるた』が未永く地域で楽しんでいただけると嬉しいです。

小さな拠点運営法人への 参加説明会を開催

大町市の運営検討会での議論の結果、非営利型の一般社団法人が適当との意見を受けて、運営組織の法人化に向けた会員向け説明会を3月25日に開催し、サービス内容の調整を進める方針が提案されました。いよいよ住民が主体となり、地域を運営する組織が立ち上がろうとしています。

多くの皆様から無理のない範囲でご参加いただきたいと考えています。



地域の話題

伝説の桜を守る

長野県の天然記念物であり、樹齢千年とも言われ、美麻地区のシンボルとして親しまれている静の桜ですが、一昨年の秋頃から枯れた幹や枝が落下し、健康状態が心配されていました。



一昨年の秋、大きな枝が枯れて落下しました。

市では治療にあたって、長年、静の桜の手入に携わっている大北森林組合の樹木医と関係者で木の状態を確認しました。幹に大きな亀裂などは見当たらず、枝は葉をつけ生育していることから、幹枯れた部分を取り除いて朽ちていくのを防止し、枯れた枝を取り除くことで、大きな枝にかかる負担や重量を減らす作業を3月に行いました。



また、今までも木の根本に藁（わら）を敷いて木の生育環境を整えてきましたが、昨年に引き続き、通気性や保水力を向上させるため土壌改良を行いました。

静の桜は人間に例えると100歳を超える超高齢ということになります。ですから、今回の処置により若いころの元気を取り戻すのは難しいかもしれませんが、これからもできる限りの対策を講じながら地域のシンボルとして保存していきたいと思いますので、引き続き、地域の皆さまからもご支援をいただきたいと思います。

（大田市文化財センター 勝野 実）

長野県天然記念物
「大塩のイヌザクラ」保護事業

- （事業実施内容）
大塩のイヌザクラ腐朽防止工事
・枯損枝等除去作業
（長野県補助事業）
・樹勢回復作業（大田市単独事業）





大町民話の里づくりもんの会
美麻の口碑伝説
 ～語り継ぐ郷土の心～



口碑伝説「六」千見のお話

千見城

武田軍の大將山縣昌景(やまがたまさか)の軍が、大日方(おびなた)長辰(ながたつ)を千見城に攻めた。千見城は、自然の要害を利用した城。

城主大日方長辰は、1552年に討ち死にした。その後、天保6年(1835年)のこと。城山とその北東の天狗山に、太鼓の音やキツネの鳴く声が始め、何かの変事の兆しだろうと、桑の木沢にある常泉院の祈祷師を頼み座をたて伺ってみた。すると、「正月の元旦、盆、彼岸、9月29日に回向(死者の冥福を祈ること)を頼む。また、石塔も村中で建てておくれ。」とのこと。

また戒名を聞いたところ、「正源院警禪定門、死んだ日は九月二十九日である。」お告げがあった。そこで当時、善福寺の禅僧、瑞麟師という人を頼んで石塔を城山に建てた。石塔の左側の脇に「天保六年四月朔日村中達之」と書かれており、今も石塔はちゃんと建っている。

【地名のいわれ】

「絶荒らし」 城の北側は岩石で絶壁。落城の時、長辰の妻子供はここから逃れようとして壘に垂って下りたが、不幸にも転落して亡くなった哀話を伝えている。

「水の手」 城の西側の山の中腹。武田軍の水攻めを取くため桶の中から白米を汲み出したり、その米で顔を洗ったり白米を岩角より流し滝を作るなど水があるように見せかけた。しかし犬が時々籠に水を飲み下りてきたので、城に水が絶えていることがわかり攻め落とされた。

「鉤懸け」 (かぎかけ) 城の南側中腹にある場所。すごい崖で敵軍も登れないと思っていたら、武田軍はここへ鉤(先の曲がった金属製の器具)を懸けて攻めて登ってきた。

「矢林」 (やべえし) 千見地区の壘の奥にある笹林で、武田軍勢が、大日方長辰を攻める時、矢がこの林まで飛んできたというので、この名がついた。

「駒返」 (こまげえり) 千見城を攻める時、武田氏のある大将がここまで馬を乗り入れたが思わしくないので、引き返した。ここで馬を返したので「駒返」と名付けられた。

「二本矢」 (にほんや) 千見城へ上がる表参道を登ったところ、土尻川を隔てて向こうの「一の坂」という山から盛んに矢を放ったがここまで届いた矢はわずか二本だけだった。

「大戻り」 城の東側の険しい場所。人が容易に通れる所ではないが、万が一、敵が攻めてくるかとも思い犬を放してみたところ、さすがの犬も下れず帰ってきたという。



コミュニティ・スクールの話題

卒業式「ありがとう9年生」



穏やかな日の中、3月18日（木）に美麻小中学校卒業証書授与式が行われました。

昨年度は修了式とともに行われた卒業式。その場にいた6年生しか見送ることができませんでした。しかし、今年は全校生徒が参加でき、卒業式の後は外に出て、歌や呼びかけで9年生への感謝の気持ちを伝えることができました。

胸を張って卒業する15名の9年生。とても立派な姿でした。今後の進路に幸多からんことを祈ります。

6年生12名が小学校の教育課程を修了し、3月17日の修了式で修了（卒業）証書をいただきました。中学校課程（7年生）への進級、中学1年生への進

小学校過程修了式

学おめでとうございます。

小学校課程の最終年だった1年間は、コロナ禍によって休校や分散登校、活動の自粛や縮小などがあり、これまでできていたことができなくなってしまった1年でした。それでも、子どもたちは今できることに全力を注いで、この1年を駆け抜けてきました。運動会の応援団、梨の木祭の大縄跳び、市民科等々、数々の貴重な経験を積み重ねて心も体も大きく成長しました。

3学期に入ると、ステップ期のリーダーとしての意識が芽生え、中学生のような気配りと主体的な取り組みをして9年生と7年生を送る会を成功させた子どもたち。その姿はとても頼もしいものでした。4月から7年生として、ますます活躍し成長するこ



作りあげよう、最後で最高の宝物（9年生を送る会）

リハーサルをしているときに、Hくんと話をしました。

Hくん「先生、送る会、大丈夫ですかね。うまくいきますかね？」リハーサルをやってはじめて感じる「不安」。それは、いいものを作りたいと思うからこそ感じる気持ち。7、8年で1つのものをみんなで作っている時間がたくさんあった今週でした。

一生懸命やっていたらうまくいかないことがあっても、それは「失敗」ではない。だからやり始めて動き始めたみんなに失敗はないと思っている。

困ったら周りにSOSを出す。それは難しいことだけど、一人で抱え込まないことが、一番大切。実は私もSOSを出すことはうまくできない。それだけ難しくても大人になってもずっと大切になる力。それが、協働する力の本質なんだと思う。

ちょっと付け加えましたが、Hくんに対して上のような答えを送りました。それは、Hくんだけでなく、がんばっている7、8年生みんなへのメッセージです。



当日、いろいろなアクシデントがありながら、9年生が笑顔でいてくれたことにとても満足。ありがとうを、「言葉以外」でも伝えられた時間になりました。【7、8年学級通信より抜粋】

地域の話題

みあさ保育園入園式

今年度唯一1人の年少クラスに入園しました。入園式までは、『1人だけで可哀想だったかな?』そんな心配ばかりしてました。

しかし、少人数の美麻の良いところで、年中、年長の子達、先生方が初めから優しく楽しく接してくれたので『保育園楽しい』と言って、毎日いっぱい1日の事を話してくれます。そのお土産話を聞いていると私も楽しくなってきます。これからも保育園生活を楽しんでほしいです。



みあさ保育園卒園式

3月25日、無事に卒園式を迎えることができました。この一年はいつもと同じような行事ができなくて、いろいろ我慢の年でした。

でも、その中でも仲間との絆はしっかりでき、いろいろ乗り越えた年でもありました。

3人だけの卒園児だったけど、卒園の歌「ずっといっしょだよ」を3人とは思えないくらい堂々と、凛々しい姿で歌いあげ涙があふれました。本当に素晴らしい卒園式でした。ありがとうございました。宜しくお願い致します。(みあさ保育園保護者会 柏原亜衣)

あかりをつけましょ ほんぽりに~♪

今年は子どもたちといっしょに7段飾りのひな人形を飾りました。初めて飾る子も多く、「これなあに?」と言いながら楽しそうに手伝ってくれました。飾り終わったあとはみんなでひな祭りのうたを歌いました。

「うれしいひなまつり」の歌は実物を見ながら覚えたので、長い歌も覚えられ元気いっぱいに歌っていました。7段飾りの他にも年少さんは折り紙で壁掛けひな人形を、年中さんは折り紙でつるし雛を、年長さんはお花紙を丸めて立体の置き型ひな人形を作りました。それぞれ難しいところもありましたが、がんばって作る姿が見られました。出来上がったひな人形は遊



戯室に飾ってみんなで楽しんでいます。

3月2日のひなまつり会では、ひな人形の説明をひとつひとつしていきました。ひな人形は「結婚式をしているところ」ということや

それぞれの役割、物の名前など、知らなかったことがたくさんあったようで次々に質問が出て、興味津々でした。

おひなさまゲームでは曲に合わせて扇子と尺をまわし、曲が止まった時に持っていた物で、顔出しおだいりさまが、おひなさまに入って写真を撮りました。また、好きな人を選んで顔出しおひなさまに入って写真も撮り、楽しいひとときを過ごしました。

地域の話題

令和3年度事業提案の募集結果

令和3年度の地域づくり活動にたくさんの提案をいただきありがとうございました。

事業提案については、令和3年度事業の内容に反映させていただきました。また、支援が必要な提案につきましては、役員会で提案内容を確認させていただきながら、美麻地域づくり会議として、必要な支援を行っていきます。

提案された事業は次のとおりです。（順不同）

- ・麻入り和紙の卒業証書づくり（学校PTA）
- ・土尻川源流の岩魚等の調査（青貝自治会）
- ・総合学習美麻市民科への支援
（美麻小中学校・スクールパートナーズ）
- ・ほかほかランドを中心とした地域活性化（個人）
- ・観光案内・移住情報を発信できる場づくり（個人）
- ・花豆や野菜が販売できる八百屋の事業（個人）
- ・学校20周年記念タイムカプセル開封事業
（タイムカプセル実行委員会）

タイムカプセルを開いてみよう！

美麻小中学校設立20周年のタイムカプセルが埋められて25年が経ちました。今は、在校生で地区内に残る人は少なく、その存在自体も忘れ去られようとしています。

今回のタイムカプセル開封に併せ、当時の在校生でタイムカプセル実行委員会をつくりました。6月を目途に準備を進めておりましたが、コロナの影響もあり7月に延期をしております。準備が整い次第皆様にお伝え出来ればと考えております。「是非参加したい！」という人も、「あまり乗り気じゃない」という人も、「今は忙しい」という人も色々だと思います。私自身その当時から考えるとまさか発起人になるとは思っていませんでした。中学を卒業して美麻を10数年離れていたのですが、思春期だったせいか戻ってくると自分の思い出の主観の多さに今に驚くことが多いです。

在校生主体の実行委員で手前味噌ではありますが、関わった皆様が悪かったと思えるようなイベントにしていきたいと思っております。また、この他にも美麻小中学校30周年、村政100周年など、開封を待つタイムカプセルが美麻には存在します。開封をすることが、新たな視点でふるさとに向き合う良い

きっかけになっていけば幸いです。

（タイムカプセル実行委員
代表 北澤和也）



☞ 村制施行百周年の記念事業として埋められたカプセル（写真：左）は、2039年に開封することになっていました。皆さん忘れずにしましょう。



新入生に交通安全グッズを進呈

12名の新入生を迎える美麻小中学校に美麻地区の交通安全協会から、校長先生に交通安全グッズが進呈されました。楽しく安全に通学してください。



道の駅活性化事業を開催

大勢に参加いただき4月17日に道の駅周辺の環境整備活動を行いました。合わせて美麻小中学校9年生が制作した地図を観光案内看板として設置しました。ぜひご覧ください。



新しい消防車が配備

大町市消防団第6分団に新しい消防車が配備されました。消防車両の更新は22年ぶりとのこと。火事や災害時などで地域の防災力が高まり頼もしい限りです。



■ 編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻1810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info